



市立三次中央病院
日本専門医機構共通講習：医療倫理1単位
主催：緩和ケアセンター、共催：備北メディカルネットワーク

- 日時：令和2年3月24日（火）
19:00～20:30 講義・Q&A
- 会場：市立三次中央病院健診センター2階 講堂
- サテライト会場：庄原日赤病院、甲奴診療所、
庄原市立西城市民病院、三次地区医療センター
- 演題

医療従事者の職業倫理規範 — 自律性尊重と最善尽力のバランス —

臨床現場においては、たとえば医療／ケア側が望ましいと考える対応と患者の要望が一致しない事例、患者と家族の意向が足並み揃わない事例など、患者・家族との対応にスタッフが困難感やジレンマを感じる 경우가少なくありません。そのようなことが重なると心身ともに疲弊し、スタッフが「燃え尽き」に陥る大きな要因ともなります。その打開策は、医療従事者として遵守すべき職業上の倫理規範をよく知ることに尽きます。今回は『医療倫理の四原則』を詳述するとともに、終末期ケアにおいて念頭に置くべき規範についても解説します。

市立三次中央病院 緩和ケア内科医長
佐伯 俊成

< 講師略歴 >

佐伯 俊成(さえき としなり)：
昭和60年広島大学精神科入局。JA吉田総合病院、
広島市民病院、中国労災病院、安佐市民病院、東京都立墨東病院
などの精神科を経て、平成8年から広島大学病院精神科助手。平成10年
同医局長。平成14年同講師。平成16年同総合診療科准教授。平成25年4
月から現職。平成28年10月緩和ケアセンター長兼務。外来・入院緩和ケア
に加えて近年は在宅緩和ケアにも注力する。うつ病ケアと自殺対策、認知
症ケア、精神科救急にも通暁。厚生労働省精神保健指定医、日本心身医
学会心身医療認定医、日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学
指導医・専門医、日本精神神経学会指導医・専門医。

